

## 居安思危 ～おおさか 880 万人訓練号～

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)

この夏、大阪では気温が 35℃以上の猛暑日が続き、熱中症による病院搬送などの報道も多くなりました。みなさんは体調を崩すことなく、元気に夏休みを過ごすことができましたか？いよいよ、今週末は文化祭です。厳しい残暑の中での文化祭ですので、熱中症の対策や食品を扱う人は食中毒の予防をしっかりとしてくださいね。

さて、9月5日(月)は「おおさか 880 万人訓練」です。午前 11 時に南海トラフ巨大地震が発生し、11 時 3 分に大津波警報が発表されたという想定で実施されます。対応機種携帯電話やスマートフォンでは訓練用のエリアメールや緊急速報メールが自動的に受信し、マナーモードにしている場合でも鳴動します。また、エリアメール・緊急速報メールに対応していない機種を持っている人でも、「おおさか防災情報メール」や「Yahoo!防災速報」などに登録していれば同様のメールを受け取ることができます。この訓練は「様々な情報源から正しく地震・津波発生情報を得、地震・津波発生時に安全を確保する行動を取ることができるよう」行われます。

今年は文化祭の代休ですので、部活で学校に来ている人、友だちと遊びに行っている人、自宅で過ごす人等、様々な状態でみなさんは過ごしておられます。その場での安全確保や家族との連絡手段など、この機会にぜひ家族で話し合ってください。

## 海溝型地震だけでなく、断層型地震にも注意！

この夏、政府の地震調査研究推進本部が全国の活断層帯の長期評価について見直しを行うことを発表しました。見直し後にはマグニチュード 7 以上の大きな地震を起こす可能性のある全国の断層帯のうち、上町断層帯(大手前高校の真下を通っている断層です!)、中央構造線断層帯のうち、金剛山地東縁、和泉山脈南縁などの 29 断層帯が、地震リスクの一番高い S ランクに該当します。S ランクの 30 年以内の地震発生確率は 3%以上になります。南海トラフ地震の 30 年以内の発生確率が 70%と言われているのに対して、非常に少ない確率のように感じますが、4 月の熊本地震で活動した布田川断層帯の発生確率は地震前には 0~0.9%であり、「やや高い」と評価されていたことを考えると、決して低い確率ではないことがわかります。

断層型の地震は深さがおおむね 30km よりも浅い地殻の内部で発生するため、緊急地震速報が間に合いにくく、大都市の直下で起きると甚大な被害をもたらされます。地震調査研究推進本部は、今後、新しくランク分けしたそれぞれの活断層の評価をホームページなどで公表することにしています。今日 9 月 1 日は「防災の日」です。「防災の日」は大正 12 年(1923 年)9 月 1 日に発生し、10 万人以上の死者・行方不明者を出した『関東大震災』に由来しています。また、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあります。地震、津波だけでなく、台風、高潮等の災害についても認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備しましょう。

第5回

# 大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill

## 平成28年9月5日(月)訓練一斉実施!!

**11時：地震発生!!** (館内放送や屋外スピーカーなどでお知らせします。)

**11時03分頃：大津波警報発表!!**  
(訓練用のエリアメール/緊急速報メールが届きます。※緊急地震速報のブザー音ではありません。)

※ 大阪府全域向けのメール発信に続いて、2回目を発信する市町村があります。

**府内の一人ひとりが、事前に考え、行動し、再確認して頂くために実施する訓練です!**



訓練の合図は、次の方法でお知らせします。

### ■街なかや施設で

館内放送・屋外スピーカー・電車等の車内放送



### <対応機種の方全員>

11:03頃 エリアメール/緊急速報メール  
マナーモードにいても鳴ります!

※携帯電話の対応機種など、詳しくは携帯電話各社でご確認ください。  
※大阪府全域向けの発信に続いて2回目を発信する市町村があります。  
※対応率最大83.5% (H28.3未現在)

### <登録した方のみ>

11:00頃から順次  
・おおさか防災情報メール  
・Yahoo! JAPAN「防災速報」アプリ  
・NTTドコモ「地震防災訓練」アプリ  
※NTTドコモのアプリでは、11:00に設定してください。

### ■携帯電話で

- ・エリアメール/緊急速報メール ... 対応機種のみ
  - ・おおさか防災情報メール
  - ・Yahoo! JAPAN「防災速報」アプリ
  - ・NTTドコモ「地震防災訓練」アプリ
- 登録者のみ





# 訓練でどのような行動を取るか考えておき、 9月5日(月) 訓練当日に実行しましょう！

## 地震が起きたら「まずは身を守る」 揺れがおさまったら津波に備えて「すぐ逃げる」

### 揺れを感じたら

- 屋内ではテーブルの下に
- 屋外ではブロック塀の倒壊や落下物に注意



### 緊急地震速報が出されたら

- 見聞きしてから、数秒から数十秒で揺れが来ます。
- 身の安全を守ることを最優先に行動しましょう



### 揺れがおさまったら

- 火の始末、火が出たらすぐ消火
- 戸を開けて出口を確保、外に出るときはあわてずに
- 瓦やガラスなどの落下物に注意
- 隣近所で声を掛け合って避難
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に



### 津波浸水の恐れのある地域では避難

- 高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところへ
- 津波警報・注意報が解除されるまで決して戻らない



## 日頃の備えがあなたの命を守ります

### 日頃の備えで被害を「減らす」

災害がいつ起こってもあわてず行動が出来るよう、普段から備えておくことが大切です。

#### ●持ち出し品の準備を

リュックなどにまとめてすぐに持ち出せるようにしましょう。  
(例)食料品、飲料水、常備薬、ラジオ、懐中電灯、貴重品など  
※重くなりすぎないように注意しましょう。



#### ●備蓄品の用意を

水道、ガス、電気などが止まった場合を想定して、被災後1週間程度乗り切れる用意をしましょう。  
(例)食料品、飲料水、カセットコンロ、予備電池など



#### ●家の中に安全空間を

- ・家具類や大型家電は器具や留め具などで固定
- ・ガラス飛散防止シートの貼り付け

#### ●住宅の耐震化を

- 避難場所、避難路の確認を
- 地震が発生した時の連絡方法と会う場所の確認を

### おおさか防災情報メールにご登録を！

気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・指示や緊急のお知らせなどをメールで配信します。  
エリアメール／緊急速報メールを受信できない方は、ぜひご登録を！

登録は HP    
※携帯電話での登録はQRコードから ⇒ (空メールを送信してください)



### Yahoo! JAPAN「防災速報」アプリ

訓練ではアプリ版のみを使用いたします。  
防災速報スマートフォンアプリをインストールいただきますと、地震・豪雨・津波などの速報をプッシュ通知で、いち早く受け取ることができます。



### NTTドコモ「地震防災訓練」アプリ

※ドコモ以外のスマートフォンでもご利用になれます。

事前に本アプリに訓練日時を設定すると、設定した日時に緊急地震速報のブザー音が鳴ります。これをきっかけとして避難行動の訓練を実施して下さい。  
なお、マナーモード設定時はなりませんのでご注意ください。



大阪880万人訓練実行委員会

HP

[http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/traimg\\_top/](http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/traimg_top/)

#### お問い合わせ先

大阪府 06-6941-0351(代表)  
06-6910-8001(府民お問い合わせセンター)  
大阪市 06-6208-7387  
堺市 072-228-7605

訓練当日は電気がつながりにくくなる場合がありますので、なるべく事前にお問い合わせください。

# 台風から身を守る

## 毎年起こる台風被害

7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらします。今回来ている台風8号は7月に日本に来る台風としては非常に大型で強い台風です。すでに暴風域に入っている沖縄地方では特別警報も出されています。今後は進路を東寄りに変えて日本を縦断する恐れがあります。台風の被害から身を守るため、前もって対策を立て、最大限の警戒をしておくことが大切です。

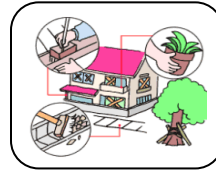
## 台風災害を防ぐために

### 1. 台風が来る前に

台風が接近してから屋外へ出るのは危険！情報を利用して台風が来る前に対策を！

#### \*家の外の備え

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要ならば外から板を打ち付け補強する。
- ・庭木に支柱を立てたり、塀を補強する。
- ・溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく。
- ・植木鉢や物干し竿、ごみ箱などの飛ばされそうなものは固定するか、屋内に入れておく。



#### \*家の中の備え

- ・雨戸を閉め、割れたときのガラスの飛散を防ぐためにガラス窓にテープを貼ったり、カーテンやブラインドをおろしておく。
- ・非常用品の確認・・・懐中電灯、携帯ラジオ、救急薬品、衣類、貴重品  
非常用食料、携帯ボンベ式コンロ、マッチなど
- ・断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



#### \*避難場所の確認

- ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認する。

### 2. 台風が接近しているとき

#### \*台風情報に注意する。

- ・気象台からの最新の気象情報がテレビ、ラジオで伝えられる。情報を得たら、再度家の周りの安全確認をする。

#### \*注意報・警報に気をつける

- ・被害の出る恐れがあるときは、注意報・警報が発表されるので最新の情報を入手する。

#### \*危険な場所に近づかない

- ・雨で増水した小川や側溝は境界線が見えなかったり、冠水した道路上では浮き上がったマンホールも見えにくいため、転落事故が多発する。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなるので、日ごろ安全な場所でも油断せず、このような場所にはむやみに近づかない。

### 3. 台風が上陸後

\*家から出ない。特に、海岸・川岸付近は危険！

- ・ハザードマップで付近の危険地域を確認。

\*いつでも避難出来るようにしておく。

- ・危険地域になっていなくても、「うちは大丈夫」「まだ大丈夫」と甘くみず、早めの避難行動をとる。

\*警戒は最後まで

- ・台風が通り過ぎたり、熱帯低気圧に変わったりしても、吹き返しの強い風が吹いたり、雨が降り続いたりすることがあるので、警報や注意報が解除されるまでは警戒を続ける。



## 台風による主な災害

### 1. 大雨

\*台風の進行方向右側の地域では、大雨に対するより一層の警戒が必要！

- ・台風の南よりの暖かく湿った強風が、南～南東の山地の斜面に吹き込み、地形によって強制的に空気が上昇することで、雨雲が非常に発達し、激しい雨を降らせることがある。

\*台風+前線+高気圧

- ・停滞前線に向かって、台風や太平洋高気圧から暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発になる。台風が離れていても前線付近では大雨に警戒すること。また、必ず最新の気象情報を確認し、河川の氾濫、土砂災害にも警戒が必要。

### 2. 高潮

\*南に開けた湾で高潮注意！

- ・台風の風は反時計回りで進行方向の右側で強くなっているため、陸地にいきこんだ湾で台風が西側を北上した場合に、南風が吹き続けて高潮が起こりやすい。特に、遠浅で南に開いた湾や満潮時刻が重なった場合は警戒が必要。

### 3. 強風・暴風

\*台風の進行方向右側では強風に注意！

\*入り江や海峡など地形の影響を受けるところでは強風に注意！

\*吹き返しの風に注意

- ・台風の目の通過前に南よりの強風から、接近とともに猛烈な南風になり、台風の目が過ぎ去ったあとに反対の北よりの風が強風が吹き返すことがある。

\*海岸近くでは塩風害に注意

- ・強い風が海から陸に向かって吹き込む場合は、多くの塩の粒子が運ばれ、植物の枯死や停電を起こすことがある。

\*山地の風下でフェーン現象による高温・乾燥に注意

- ・台風が南海上から近づき、日本海側に暖かく乾燥した南風が吹き降りたとき、その地方は高温乾燥となり、火災が多発しやすくなる。

